

脇之島地域 地区懇談会における 主な意見と回答を報告します

「令和元年度主要事業について」をテーマに開催した地区懇談会での主なご意見とその回答をまとめましたのでご覧ください。

※このまとめは6月19日（水）時点のもので、いただいたご意見のいくつかは、現在も各担当課が鋭意対応を進めています

日 時：令和元年5月28日 午後7時～

場 所：脇之島公民館大ホール

●質問 公共施設の適正配置計画に上下水道の統廃合も含まれますか。

上下水道のような重要で減らせないものは、統廃合から除外しています。

●質問 通学路の変更をお願いしたいです。

通学路は、市や教育委員会が強制するものではありません。不安があるようでしたら、生徒・児童はもちろん、PTAや学校と協議をして、最も安全であると判断したルートを決めて教育委員会へご報告ください。

●質問 多治見駅南地区市街地再開発の中に、帰宅困難者などを受け入れることができる災害拠点施設を作る予定はありますか。

帰宅困難者については、既に駅北庁舎で受け入れることが可能です。また、再開発ビルの多治見市が所有するフロアについても当然受け入れる予定です。

●質問 資源回収で集めたお金で、南ヶ丘中学校の各クラスにiPadを寄付しようとしたら、Windows（ウインドウズ）なら寄付してもらってもいいと言われました。もっと柔軟な対応をしていただきたいです。

多治見市は10年間で10億円をかけて教育の電子化を行っています。「多治見市の計画に沿うようなものをご寄付いただけるならお願いしたい」という意味だったのではないかと推測します。

児童生徒の教育用タブレット端末については、教職員の負担軽減と効率的な管理をするため、機器仕様の統一、運用の標準化を推進しています。従って、購入または寄付の受け入れの際は、導入規模や内容を事前に協議をしており、iPad（アイパッド）を一律に「不許可」としているわけではなく柔軟な対応をしています。

●質問 (仮称) 平和太平洋線の着工はまだですか。

山本県議、高木県議とともに、実現に向けスピードアップを図っていきます。

●質問 幼児教育・保育無償化になれば園に通う家庭が増え待機児童が出ると思います。多治見市はどのような対策を考えていますか。

全国的に、少子化の影響で子どもの数は減っています。一方で女性の社会進出などの時代背景を受けて、保育のニーズはほぼ横ばいの状況です。保育園、幼稚園の統合は行っていますが、定員については従前の数を維持しています。また、民間の保育園についても、将来のニーズを踏まえて定員を増やしていただいている状況です。今後も多治見市のお子さんが通いやすい体制を整えていきます。

●質問 公園の遊具が少ないと思います。予算の問題もあると思いますが、新しい遊具を入れてください。

議会議員を通して要望書を出してください。

●質問 多治見市立地適正化計画の説明で脇之島が地域拠点になっています。将来、商業施設や医療施設を誘致するというのですか。

立地適正化計画とは、現在の誘導施設を維持していくのがメインです。商業施設については民間の事業所に頑張ってもらいたく、市が積極的に誘致してくるものではありません。ただ、地域拠点以外のところに誘導施設を建築しようとした場合は、市に届け出をする必要があります。罰則がある訳ではありませんが、20年ほどかけて緩やかに誘導をしていく施策です。

●質問 国道248号線JA陶都のガソリンスタンド西のアンダーパスは災害に非常に弱いです。説明のあった懸案道路のほかに、大規模災害時にまちを安全に南北に通過できる道の整備をお願いしたいです。

下を潜る道路(アンダーパス)は豪雨の際に必ず水につかります。今後、作るとしたらオーバークリッジ(太鼓橋)だと思っています。